

平成29年3月15日

平成28年度徳島大学大学開放実践センター公開講座  
「生涯学習研究院」修了式の開催について

徳島大学（学長：野地澄晴）では、平成25年度から新たに、一般社会人を対象に、青少年健全育成、健康・フィットネス、災害対策とICT、国際協力の4領域について2年間かけて体系的に学び、市民活動のリーダーを目指す公開講座「生涯学習研究院」を開講してまいりました。この「生涯学習研究院」第二期生の修了式を下記のとおり開催します。

（報道概要）

◎大学開放実践センター公開講座「生涯学習研究院」修了式

1. 日時：平成29年3月23日（木）16：00～
2. 会場：徳島大学 大学開放実践センター第1講義室
3. プログラム
  - 開式
  - 修了証書授与
  - 大学開放実践センター長式辞
  - 学長祝辞
  - 来賓祝辞
  - 修了生代表謝辞
  - 閉式
4. 参加方法  
当日直接会場へお越しいただき、受付をしてください。
5. 主催：徳島大学 大学開放実践センター

◎「生涯学習研究院」（詳細は別紙のとおり）

お問い合わせ先

部局名 徳島大学大学開放実践センター  
責任者 大学開放実践センター長 馬場 祐次朗  
担当者 教育支援課生涯学習係 林 雅彦  
電話番号 088-656-7276  
メールアドレス：baba-y@cue.tokushima-u.ac.jp

# 平成 27 年度

## 徳島大学大学開放実践センター公開講座 「生涯学習研究院」受講生募集要項

### 生涯学習研究院とは

「生涯学習研究院」は、徳島県が現在抱えている様々な地域課題の解決に資するため、一般社会人を対象に、青少年健全育成、健康・フィットネス、災害対策と ICT、多文化共生の4つの領域についての専門的な知識・技術などを体系的に学ぶ機会を提供し、自ら地域課題の解決に積極的に取り組む生涯学習・市民活動のリーダーを育成することを目指す学習プログラムです。

### 生涯学習研究院の特色

今日、急激な社会経済の変化のなかで、地域の連帯感や人間関係の希薄化が進み、個人が主体的に地域や社会のために活動する機会も少なくなってきました。一方で、青少年の健全育成や地域の医療・福祉、防災、環境保全、国際化など対応すべき地域課題はますます増えてきており、地域社会の活性化を推進する人材育成や地域コミュニティの再構築のための仕組みづくりが求められています。

徳島大学では、これまでも大学開放実践センターや各学部・センター等においてそれぞれの研究成果を生かした特色ある公開講座や講演会等を実施し、地域振興に貢献してきました。

こうした実績を踏まえ、徳島大学ではこのたび、創造力、実践力、応用力に富み、地域課題の解決に主体的に取り組む生涯学習・市民活動のリーダーを養成するための本学独自の学習プログラムを開発し、平成25年度から、「生涯学習研究院」を実施しています。

このプログラムの特徴は以下の点にあります。

#### 1. 生涯学習の特定領域について、2年間かけて体系的に学ぶ。

青少年健全育成、健康・フィットネス、災害対策と ICT、多文化共生の4領域について、それぞれの領域の基礎科目、専門科目、演習、課題研究を2年間にわたり、体系的に学ぶプログラムです。

#### 2. 公開講座と大学の授業を組み合わせる。

大学開放実践センターが実施する公開講座だけではなく、4つの領域に関係の深い分野の大学の授業を学生と一緒に履修するシステムになっています。

#### 3. 「市民活動支援士」という称号を授与する。

厳格な審査を経た後に本プログラムの修了した者には、徳島大学大学開放実践センターから「市民活動支援士」という称号が授与されます。「市民活動支援士」は、学校や公民館における学習活動の指導者など、主体的な活動を展開することにより地域課題の解決に貢献することを目指します。また、当大学開放実践センターにおいて、一定の審査を経た後、自ら企画した公開講座を開講することも可能です。

#### 4. 「徳大まなび連」(愛称)のメンバーになる。

「市民活動支援士」の称号を授与された方々は、「徳大まなび連」(愛称)のメンバーになります。

※「徳大まなび連」とは、市民活動支援士の称号を得た方々全体の愛称です。

## 1. 募集領域

生涯学習研究院には以下の4領域が設けられます。

領域	生涯学習・市民活動支援の内容
①青少年健全育成	子どもたちの自然体験・社会体験活動等の指導者、放課後子ども教室・学校支援地域本部の指導者、青少年地域活動のリーダーなど
②健康・フィットネス	健康をキー・ワードとした講座のインストラクターや、地域の健康づくりボランティアリーダーなど
③災害対策とICT	災害時にICTを活用しながら中心となって活躍するボランティアリーダーや、災害対策の講座の指導者など
④多文化共生	語学力を活かし、世界の情勢を総合的にとらえ、複眼的な視野を持ち国内外で外国人支援、国際交流事業等で活躍できるコーディネーターなど

## 2. 出願資格

本プログラムを受講できるのは、原則として4年制大学を卒業した者、またはそれと同等の知識・技能があると本学が認めた者とします。

大学・大学院在籍者は原則として受講申し込みできません。

## 3. 募集定員

募集定員は、各領域とも数名です。

## 4. 受講年限

受講年限は原則2年間とします。但し、その間に修了できない場合は、受講を通算4年まで延長することができます。

## 5. 受講料

- (1) 受講料は、半期25,000円、年間50,000円とします。
- (2) 納入期間は、平成27年4月7日(火)～4月11日(火)です。期限内に必ず窓口で納入してください。
- (3) 納入後の講習料の返還はできませんのでご了承ください。

## 6. 出願方法

- (1) 生涯学習研究院の受講希望者は、本プログラムの受講動機をA4用紙に1,000字程度にまとめてください。
  - (2) 別紙「生涯学習研究院受講申込書」に、必要事項を記入してください。
  - (3) 「多文化共生」の領域の受講希望者は、5年以内に受験した語学能力を証明する書類(英検、TOEIC、TOEFL、IELTS等の証書の写し)があれば添付してください。証明書がない場合には、受講決定後、直近のTOEIC試験を受験していただきます。
- ※上記(1)、(2)及び(3)をそろえた後、出願期間内に申込み先へ郵送または直接持参してください。

## 7. 出願期間

- (1) 平成27年1月28日(水)～平成27年2月10日(火)まで  
(土日を除く午前9時から午後5時まで)
- (2) 郵送の場合は、期間内に必着するよう送付してください。

## 8. 受講者の決定

- (1) 生涯学習研究院の受講の可否は、受講希望者が大学開放実践センターの複数の教員による面接を受けた後、決定します。  
※面接は、平成27年2月26日(木)午前中を予定しています。
- (2) 受講の決定については、平成27年3月中旬までに郵送でお知らせします。

## 9. その他の注意事項

- (1) 公開講座や大学の授業に必要なテキスト・教材など、別途個人負担の費用が掛かることがあります。
- (2) 実習・演習等で、交通費等別途個人負担の費用が掛かることがあります。
- (3) 公開講座及び大学の授業について、単位認定は行いません。

## 10. 学習の流れ

生涯学習研究院における学習プログラムは、**1)基礎科目、2)専門科目、3)生涯学習演習、4)課題研究**の4つから構成されます。

### 1)基礎科目

指導者としての素養を身に付けることができるよう、本学が開講する公開講座、授業等の中から指定するものを30時間以上受講します。大学の授業は「公開授業」の制度を利用して受けますが、試験を受ける必要はありません（単位としては認定されません）。

### 2)専門科目

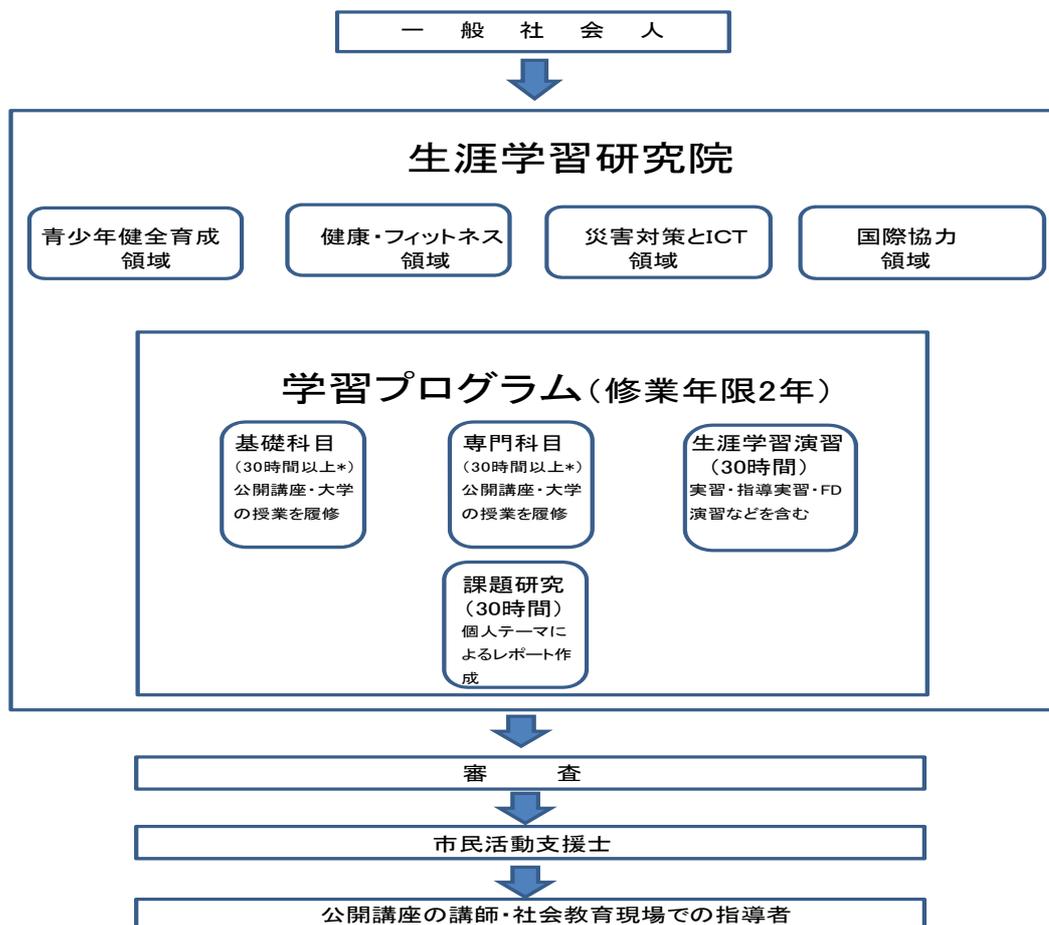
受講者の専攻する領域に従い、その専門性を深めるため大学が開講する公開講座、授業等の中から指定するものを30時間以上受講します。大学の授業は「公開授業」の制度を利用して受けますが、試験を受ける必要はありません（単位としては認定されません）。

### 3)生涯学習演習

各専攻領域に関する機関・団体等での実習や、指導教員の講座・FD研修の補助等を含め、様々な学習活動を通じて、指導者としての知識・技能を高め、実践力や応用力を身に付けます。

### 4)課題研究

受講者各人が、専門領域に関わる研究テーマを決定し、指導教員の指導を受けながら研究論文を作成します。以上の学習を修了した受講生には、厳格な審査を経た後に、徳島大学大学開放実践センターから「市民活動支援士」の称号が授与されます。



【注】\*印の基礎科目、専門科目の履修にあたっては、担当教員の承認を得なければなりません。

## 11. 年間スケジュール

平成27年度の予定です。(変更することがあります)

	公開講座の履修		授業の履修		生涯学習演習 (2年次以降)	課題研究 (2年次以降)
春学期	履修登録	3月2日(月)～ 3月20日(金)	履修登録	4月6日(金)～ 4月17日(木)	/	/
	受講	4月2日(木)～ 9月30日(水)	受講	4月13日(月)～ 7月24日(金)		
秋学期	履修登録	8月3日(月)～ 8月25日(火)	履修登録	9月24日(木)～ 10月6日(火)		
	受講	10月1日(木)～ 3月31日(木)	受講	10月1日(木)～ 1月29日(金)		

## 12. 履修科目一覧

履 修 科 目 一 覧				
	領 域			
	青少年健全育成	健康・フィットネス	災害対策とICT	国際協力
基礎科目	選択科目[公開講座・大学の授業から選択]	選択科目[公開講座・大学の授業から選択]	選択科目[公開講座・大学の授業から選択]	選択科目[公開講座・大学の授業から選択]
	excelで学ぶ徳島の生涯学習(15) 生涯学習ボランティア入門(15) など	阿波踊り体操指導者養成(5) 長距離ウォーク(18) ヘルシーフィットネス(22.5) ヨガストレッチ(22.5) 機能改善フィットネス(25.5) シェイプアップエアロビクス(25.5) 空海と歩く(22.5) など	excelで学ぶ徳島の生涯学習(15) CMSシステム入門(15) Webシステム入門(22.5) など	ボランティアでいきいき輝く人生: 知ろう,学ぼう,国際協力ボラン ティア(基礎編)(15) など
	選択科目[公開講座・大学の授業から選択]	選択科目[公開講座・大学の授業から選択]	選択科目[公開講座・大学の授業から選択]	選択科目[公開講座・大学の授業から選択]
	青少年の理解と体験活動(15) 地域による学校支援(15) など	健康運動の理論と実際Ⅰ(10) 健康運動の理論と実際Ⅱ(10) 健康運動の理論と実際Ⅲ(10) 地域健康福祉論(22.5)※ ヘルスプロモーションの基礎(22.5)※ 健康体力科学の基礎(22.5)※ 運動生理学(22.5)※ 応用解剖学(22.5)※ スポーツ栄養学(22.5)※ など	気象災害を防ぐ(22.5)※ 災害を知る(22.5)※ 地震・火山災害を防ぐ(22.5)※ 災害に備える(22.5)※ など	ボランティアでいきいき輝く人生: 知ろう,学ぼう,国際協力ボラン ティア(応用編)(15) など
生涯学習演習	自然体験活動の実際Ⅰ(15) 自然体験活動の実際Ⅱ(15)	健康フィットネスⅠ(10) 健康フィットネスⅡ(10) 健康フィットネスⅢ(10)	ボランティア実習Ⅰ(15) ボランティア実習Ⅱ(15)	ボランティア実習Ⅰ(15) ボランティア実習Ⅱ(15)
課題研究	課題研究Ⅰ(15)	課題研究Ⅰ(15)	課題研究Ⅰ(15)	課題研究Ⅰ(15)
	課題研究Ⅱ(15)	課題研究Ⅱ(15)	課題研究Ⅱ(15)	課題研究Ⅱ(15)

- 【注】1. 基礎科目及び専門科目の選択科目については、毎年度指導教員との協議により定めるものとします。  
 2. \*印は大学の授業で履修します。但し、大学の授業は、希望しても定員等の事情により受講できない場合もあります。  
 3. 開講科目名は、各年度都合により変更になることがあります。